

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
社会福祉援助技術総論	武田 誠一	講義	4	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	ソーシャルワークと呼ばれる専門的援助実践・専門職の実情や役割および機能、多様な実践の共通課題、その歴史的経過や諸理論を学ぶことを通じて、社会福祉実践におけるソーシャルワークを理解するとともに、専門的援助者としての視点の涵養をはかることを目的とする。						
到達目標	1 地域を基盤としたソーシャルワークの必要性について述べることができる。 2 ソーシャルワークの専門性を「価値」という側面から述べるができる。 3 各分野のソーシャルワークの概要を説明することができる。						
回	学習内容		回	学習内容			
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法の説明、学びの内容)		16	母子とソーシャルワーク(理論)			
2	地域を基盤としたソーシャルワーク(理論)		17	母子とソーシャルワーク(方法の実際)			
3	地域を基盤としたソーシャルワーク(方法の実際)		18	地域とソーシャルワーク(理論)			
4	地域を基盤としたソーシャルワーク(今後の展開)		19	地域とソーシャルワーク(方法の実際)			
5	ソーシャルワークの価値		20	医療とソーシャルワーク(理論)			
6	ソーシャルワークの倫理・定義		21	医療とソーシャルワーク(方法の実際)			
7	ソーシャルワークの歴史		22	生活保護行政とソーシャルワーク(理論)			
8	高齢者とソーシャルワーク(理論)		23	生活保護行政とソーシャルワーク(方法の実際)			
9	高齢者とソーシャルワーク(方法の実際)		24	生活困窮者とソーシャルワーク(理論)			
10	障害者(身体・知的)とソーシャルワーク(理論)		25	生活困窮者とソーシャルワーク(方法の実際)			
11	障害者(身体・知的)とソーシャルワーク(方法の実際)		26	学校教育とソーシャルワーク(理論)			
12	精神障害者とソーシャルワーク(理論)		27	学校教育とソーシャルワーク(方法の実際)			
13	精神障害者とソーシャルワーク(方法の実際)		28	司法とソーシャルワーク(理論)			
14	児童とソーシャルワーク(理論)		29	司法とソーシャルワーク(方法の実際)			
15	児童とソーシャルワーク(方法の実際)		30	ソーシャルワークの今後の課題とまとめ			
予習内容 復習内容	予習 指定文献の読了 復習 コーネルメソッドノートの整理						
教科書	未定						
成績評価	1. 課題・提出物：50% 2. レポート：30% 3. ミニテスト：20%						
実務経験	在宅介護支援センター、病院での実務経験に基づき、ソーシャルワークの価値と倫理について教授していきます。						
その他 特記事項	ソーシャルワークに関する基礎的な科目です。基本的な知識や態度についてしっかりと身につけてください。 なお、授業ではグループワーク、個人発表など能動的な学習を行います。						